RAMDISK ユーティリティの使いかた

本ソフトウェアは、パソコンに搭載されているメモリーの領域を仮想のハードディスク「RAMDISK」として使用するソフトウェアです。RAMDISK は、コンピュータ（マイコンピュータ）に「BFRD-DRIVE」（ハードディスク）として認識され、データの読み書きを行えます。ハードディスクよりも高速なメモリーの特性を活かし、データの読み込みや書き込みが快適に行えます。

※ インストール中に「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」と表示されることがあります。その場合は、［このドライバーソフトウェアをインストールします］を選択してください。

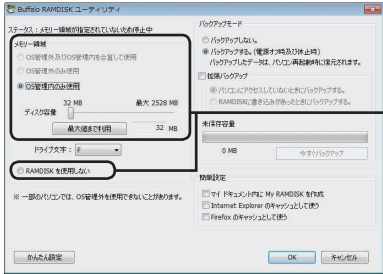
必ずお読みください

- RAMDISK に保存するデータは、必ずバックアップを作成してください。RAMDISK は、メモリーにデータを保存します。RAMDISK に保存したデータは、パソコンの電源のオフや再起動などを行うと、メモリーの特性上データが消去されます。必ずバックアップを作成してください。弊社では、いかなる場合であってもデータの保証はいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- お使いのパソコンにバッファロー製メモリーが 1 枚以上増設されている場合、Windows（32bit）で管理できないメモリー領域も RAMDISK に割り当てることができます。
- RAMDISK を使用するには 1GB 以上のメモリーが必要です。
- 作成できる RAM ディスクの容量 / 種類は、使用するパソコン環境によって異なります。
- インストールやアンインストール、各種設定を行うときは、コンピューターの管理者（Administator）権限をもつアカウントでログオンしてください。
- 本ソフトウェアは、Windows 7(64bit、32bit) / Vista(64bit、32bit) / XP（32bit）専用です。

設定

インストールの完了時や［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［RAMDISK ユーティリティ］－［RAMDISK ユーティリティ］を選択したときに設定画面が表示されます。[かんたん設定] をクリックし、画面に従って設定してください。
詳細な設定を行いたい場合は、[詳細設定] をクリックして、設定を行ってください。

［かんたん設定］をクリックします。

※ 詳細な設定を行いたい場合は、[詳細設定] をクリックします。

- **[かんたん設定]**
  お使いのパソコンにおすすめな設定を自動的に割り出し、設定を行います。詳細な設定は不要ですので、画面に従って簡単に設定を行えます。
- **[詳細設定]**
  詳細な設定が行えます。次ページからの説明を参照して、設定を行ってください。

詳細設定

詳細設定画面での設定項目を説明します。なお、詳細設定の画面で [かんたん設定] をクリックすると、P1「設定」の画面に戻ります。

メモリー領域

RAMDISK に割り当てるメモリーの領域や容量を設定します。

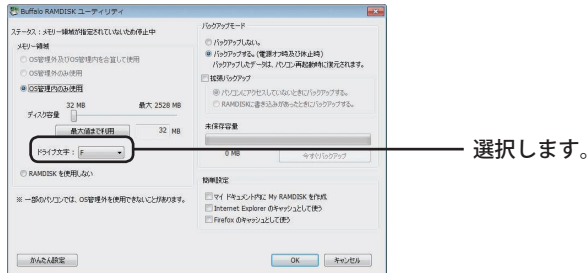
OS 管理外及び OS 管理内を合算して使用（32bitOS のみ）（※）	Windows で管理できないメモリー領域の全てを RAMDISK に割り当て、さらに、Windows で認識しているメモリー領域内で RAMDISK に割り当てる容量を設定できます。
OS 管理外のみ使用（32bitOS のみ）（※）	Windows で管理できないメモリー領域内で RAMDISK に割り当てる容量を設定できます。
OS 管理内のみ使用	Windows で認識しているメモリー領域内で RAMDISK に割り当てる容量を設定できます。
RAMDISK を使用しない	RAMDISK を使用しない場合に選択します。

⚠注意
- **メモリー領域の再設定を行う場合、RAMDISK 内のデータは全て消去されます。バックアップモードの設定を行っている場合でも、再起動時にデータは復元されません。**
- **Windows の動作に必要なメモリーやシステムメモリーの容量は、自動的に確保されます。メモリー容量の全てを RAMDISK に割り当てることはできません。**

※「OS 管理外及び OS 管理内を合算して使用」や「OS 管理外のみ使用」は、お使いのパソコンにバッファロー製メモリーが 1 枚以上搭載されている場合のみ選択できます。

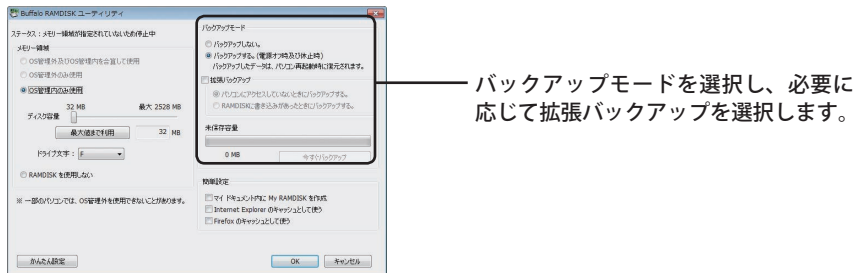
次のページへ続く

ドライブ文字

RAMDISK に割り当てるドライブ文字を選択します。

バックアップモード

RAMDISK に保存したデータをバックアップする / しないの設定ができます。

⚠注意
- **「バックアップする」を選択しないと、パソコンの電源オフや再起動などを行った場合に RAMDISK のデータが全て消去されます。**
- **バックアップデータは、パソコンのハードディスク内に隠しファイルとして保存されます。手動での復元はできません。**

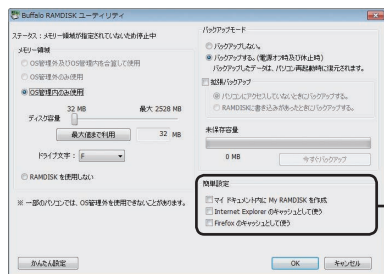
バックアップモードを選択し、必要に応じて拡張バックアップを選択します。

バックアップしない。	RAMDISK のデータをバックアップしません。パソコンを電源オフや再起動などを行った場合、RAMDISK に保存したデータは全て消去されます。
バックアップする。（電源オフ時及び休止時）	パソコンを電源オフにしたときや、休止モードにしたときにバックアップを行います。バックアップしたデータは、パソコンの電源オン時に自動的に復元されます。

※ 拡張バックアップを選択すると、パソコンの電源オフ時や休止時の他に、パソコンにアクセスしていないときや、RAMDISK に書き込みがあったときのタイミングでバックアップを行えます。

※「未保存容量」では、RAMDISK に保存されているデータの中で、バックアップされていない容量を表示します。

※［今すぐバックアップ］をクリックすると、RAMDISK のバックアップを行います。

簡単設定

RAMDISK を便利に使用するための設定を行います。

マイドキュメント内に My RAMDISK を作成	マイドキュメント内に RAMDISK のアイコンを作成し、RAMDISK を簡単に開くことができます。
Internet Explorer のキャッシュとして使う	RAMDISK を Internet Explorer のキャッシュとして使用する設定です。ハードディスクよりも高速な RAMDISK をキャッシュに設定することで、キャッシュへのアクセス時間が短縮されますので、ホームページの表示速度の改善が期待できます。
Firefox のキャッシュとして使う	RAMDISK を Firefox のキャッシュとして使用する設定です。ハードディスクよりも高速な RAMDISK をキャッシュに設定することで、キャッシュへのアクセス時間が短縮されますので、ホームページの表示速度の改善が期待できます。

設定が完了すると、コンピュータ（マイコンピュータ）に RAMDISK が認識され、データの読み書きを行えるようになります。